

前後差値が0～3の段階は、4時間～7時間前後の草刈作業、4～6の段階は、煙草乾燥、兼業、7～9の段階は石垣作り、木運び、農薬散布、10以上の場合は10時間の田の草取り、農薬散布、山仕事等である。農作業において、農薬散布が強度の疲労を示すので、この作業は時間的に長時間かかることをさげなければならない。また休養を必要とする。草刈、田の草とりも6～7時間程度の場合は、ドナジオ値が低いが、9時間～10時間になると高度の疲労を示す。つぎに、フリッカー値はドナジオ値の結果と異つた点は、耕作面積、家族構成の在り方が影響している。

## 8. 農家の夫と妻の疲労について

広島女子短大 鹿股寿美江

1. 農家生活の合理化をはかるには、適切に労働することが重要な一つの要素である。そこで、今回は、農家の夫と妻の労働に過重な労働がなされていないかを見出すことを目的として疲労調査を行った。

2. 広島県賀茂郡神田地区家計簿グループの農家の夫と妻を対象とした。調査期間昭和35年7月20日～23日。各農家においての日常の労働状態において、作業前（午前6時）作業後（午後6時～7時）の尿のドナジオ値とフリッカー値を算出し、ドナジオ値は佐藤標準法によって広島医大、大川博士に依頼して算出したものである。採尿、フリッカー検査は、神田地区の教育委員会、農協、婦人会、広島女子短大学生8名の協力によって、これを行なった。

3. ドナジオ値の結果から考察すると、ドナジオ値の